

報告

季節を楽しむ地産地消 ～ 野菜の美味しさ見直そう ～

■ 5月22日 アスパラと養鶏

いしかり食と農の未来づくり事業として初めての5月開催。春の特産品アスパラを花畔のはるきちオーガニックファームへ、着実に名を上げている平飼有精卵（養鶏）を厚田の飛ぶ鳥農場へ訪問した。



▼飛ぶ鳥農場

アスパラでは露地栽培とハウス栽培の違い、アスパラ株の性質、年間を通しての管理方法などをわかりやすく説明してもらった。

養鶏では鶏舎内を見学させていただき、多数の鶏に囲まれる中、鶏の特性や管理、こだわり抜いた餌の原材料まで説明していただいた。

アスパラも養鶏も、その場で収穫・集卵体験をさせていただくとともに直売ではお土産を買い求める方も多かった。この講座では「若手農業者に会う」というサブタイトルをつけており、未来に繋がる石狩農業の担い手の頼もしい姿を実感いただいたと思う。



▲はるきちオーガニックファーム



■ 6月5日 ハウス栽培ブロッコリー

害虫が発生する前に作られるので農薬の必要がない「特別なブロッコリー」として過去受講生に人気の高い、ハウス栽培ブロッコリー。高岡地区の小池農園にお邪魔し、じっくりとお話を聞いた後、小池農園の中をぐるりと見学した。



苗から間もなく実が赤くなり始めるミニトマトのハウス、灌水設備、きれいに管理されたハウス間を次々と移動し、最後に案内されたのが収穫真っ盛りのブロッコリー。

今年は気温も高く、あっという間に最盛期になったハウス内は、圧巻の光景だった。

収穫体験のあと、希望者に特別に直売も対応していただき、大満足の受講生だった。（文責 安藤）

石狩落花生研究会

5月23日、30日に石狩落花生研究会の種まき作業を行いました。今年は目標とする地温まで上がりきらず、初の二週連続の作業となりましたが、秋には美味しい落花生を実らせてくれることを期待しています。（文責 秋田谷）



◆ 助成金情報 ◆

●Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs (国内助成)

【応募期間】2020年7月16日～7月31日(必着)

【助成対象・内容】

■助成対象団体

国内の貧困の解消、または、貧困と関連のある問題の解消に向けて取り組む NPO

・民間非営利組織であること・日本国内に事務所があること・団体設立から3年以上であること・有償常勤スタッフが1名以上であること

◆組織診断からはじめるコース◆組織基盤強化コース

【問合せ】

特定非営利活動法人市民社会創造ファンド(担当 坂本・霜田)

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-4-3

日本橋 MIビル 1階(月～金 10時～17時)

TEL 03-5623-5055 FAX 03-5623-5057

E-mail: support-f@civildfund.org

詳しくは、HP等をご参考にして下さい